

# 富津市立保育所自己評価書

( 峰上保育所 )

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和4年4月～令和5年2月

令和5年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。	B	衛生面や感染対策を家庭や職員間、嘱託医と連携を図り、気をつけている。事故防止には認識を強化し、安全な保育環境の向上に努めている。
	愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。	A	子ども達が快適な生活リズムが保てるようかかわり、愛着関係が築けるようかかわりをしている。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。	A	子ども達の意欲に向き合い一人ひとりにあった援助を行い、興味や好奇心が広がるようかかわっている。
人間関係	子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。	B	一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、待つ、認めるなどのかかわりをし、安心感を持って過ごしている。
	生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。	A	身近な人たちから刺激を受け、あこがれの気持ちをもったり、模倣したりしながら遊びを楽しんでいる。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。	A	子ども同士や保育士とのやり取りの中で、相手の思いに気づいたり、伝えたり、代弁したりしながら丁寧なかかわりをしている。
	生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。	B	生活や遊びに決まりがあることを知らせ、一緒に考えたり失敗を通して気づかせたり、子ども達が意識できるよう援助している。
環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	A	自然に触れる中で、子ども達の探索活動への意欲を大切にし、子ども達の興味に繋がっている。

	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	子ども達の疑問や気づきを大切にし、意欲的に調べたり、試したりすることが身近なこととなり、友達や保育士と共有することを楽しむことができた。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	自然と触れる機会を多く持ち、さまざまな体験を多く取り入れ、子ども達が楽しんだり気づいたりすることができている。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	遊びや生活の中で、数や量、文字などに興味をもつような活動を取り入れることで、子ども達の関心や気づきに繋がっている。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるよう、子どもの思いや表情を汲み取りながらかかわりを持っている。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	絵本の読み聞かせを通して言葉の模倣を楽しんだり、劇遊びに繋がったりすることができた。
	保育士等や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。	A	子どもの話したい思いを受け止め、安心して思いを話せる雰囲気作り、子ども達が興味を示すような言葉掛け等を工夫しかかわりを持つようにしている。
	生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。	B	生活の中で、必要な言葉や意味を具体的に知らせ、友達や保育士とのやり取りの中で使えるようになってきている。
表現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	様々な素材に触れる機会を持ち、いろいろな感触を楽しんだり、物の性質に気づいたりした。

	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	B	リズムや手遊びなどを日々取り入れ楽しんでいる。季節の歌やわらべ歌なども取り入れながら季節を感じることに繋がった。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	B	身近にあるものを子ども達が感じたり、気付いたりしたものを保育士や友達とのかかわりによって遊びを広げ、楽しんでいる。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	子どもが思いを共有し、うれしさ、楽しさなどを様々な気持ちを味わうことができた。
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	保護者の状況に応じた配慮や支援を行うよう努めた。個別面談を年2回行い、保護者と子育ての相談や就学に向けての心配事などを話し合うことができた。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	日誌や児童票、保育計画などに記録をしている。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	A	保護者の意見を真摯に受け止め、速やかに対応するようにしている。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	B	行事計画に基づいて、職員間で話し合いをし、共通理解を図り取り組んでいる。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	保護者との相互理解を図るよう努めている。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B	職員間で話し合いをし、計画を立て実施している。また、振り返りをし、次の保育に活かせるようにしている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。	A	全職員で守秘義務を守り、個人情報についても取り扱いに十分注意している。

園内研修を実施している。	A	毎月園内研修を実施し、保育士のスキル向上に繋がっている。
掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。	B	保護者に伝えたいお知らせ、情報を見やすい場所に掲示している。日頃の保育の様子についてもドキュメンテーションを作成し、伝えるようにしている。